



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2015

Jidosha
Next New Nikkan

12月24日
(木曜日)

自研会の役員陣若返り

会長に昭和メタル栗原社長

全国の大手自動車リサイクル部品事業者などで組織する自動車補修部品研究会(自研会)は次期会長に昭和メタル(埼玉県越谷市)の栗原裕之社長が就任するなど新たな役員体制を固めた。副会長にはユーパーツ(埼玉県熊谷市)の清水道悦社長、監査役には大橋商店(横浜市磯子区)の

大橋岳彦社長が就任する。自研会は組織の若返りを図ることで、厳しさが増す自動車リサイクル業界の環境変化に対応していきたい考えだ。

このほど東京都内で第92回定例会を開催し、次回の定例会から新たな役員体制で臨む方針を決めた。自研会はさまざまな分野を取り上げ、業界

を横断的に勉強する組織として1993年に設立された。定例会は年4回開催されており、会員に加え、経済産業省や環境省など関連省庁のほか、自動車メーカー、損害保険業界、学識経験者などがテーマごとにゲストで参加する形式をとっている。新体制は第100回定例会までが任期

となる。清水会長は「今回の交代で役員の年齢は2周り若くなる。次世代に向かっていってほしい」と期待感を示した。

92回定例会では日本自動車リサイクル部品協議会(清水信夫会長)、日本ELVリサイクル機構などが今期の取り組みについて報告したほか、自動車再資源化協力機構が『適正な車上作動処理のため

の重要ポイント』と題して講演を行った。また経済産業省製造産業局自動車課の保坂明自動車リサイクル室長が政府の取組の紹介と会員との意見交換を行った。



栗原会長



清水副会長



大橋監査役